

本時のねらい

自分の成長を振り返り、関わってくれた人を思い出しながら自分がどのように成長してきたのかを知り、今やこれからの自分にとって、できることは何かを考えるきっかけとする。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

Excel シートを活用することで、短時間で「自分グラフ」を作成し、視覚的に自分の今までの経験を振り返ることができる。自分の考えやエピソードを交流したり、これからの自分にとって、できることは何かを考えたりするための時間を十分に確保することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ タブレット PC
- ・ Microsoft Teams
- ・ Word
- ・ Excel

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の幼児期にどのような出来事があり、自分の幼児期のことに対してどのようなイメージを持っているかを確認する。 	
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分グラフ」の作成についての説明を、授業者の例を用いて行う。 自分グラフ：楽しいことやうれしいことを縦軸の＋、つらいことや不安なことを縦軸の－、横軸に時間をとったグラフ。 ・一番パーセンテージが高かった時と低かったときのエピソードを記入する。 ・作成したグラフを見ながら、できなかったことができるようになったり、自分がこだわっていたことは何であったかを考えたりし、ワークシートに記入する。 ・作成したものを使って班で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳から現代までの出来事を振り返り、折れ線グラフで表す。数値を入力することで、自動でグラフが作成できるような Excel シートを準備する。 ・Teams で配付し、生徒が使用できるようにする。 (人に言いたくないことについては書かなくて良いことを確認しておく。)
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分グラフ」を提出する。 ・自分の成長に大きく関わってくれた人は誰か、その関わってくれた人たちに、今自分ができることは何かを考え、ワークシート (Word) に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Teams を用いて、Excel シートの提出を行う。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：Excel を使ってグラフを作っている場面



写真2：作成したグラフにエピソードを記入している場面



写真3：考えたことをワークシートに記入している場面

児童生徒の反応や変容

・Excel シートのグラフ機能を用いて、入力する数値の大きさを変化させることで、すぐにグラフを作成することができた。自分のその時の状況や感情を、見える化することで、幼い時の自分と成長した今の自分を比べることができ、これからの自分の在り方をしっかりと考えることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・生徒に使用させるワークシート (Word ファイルや Excel シート) を配付するとき、生徒は自ら Teams からダウンロードして使用するが、ダウンロードせずに誤って元データの中身を書き変えてしまったりするトラブルも起きた。それを防ぐために、Word や Excel の保護機能を活用することで、スムーズに生徒がダウンロードし、ファイルデータを活用することができた。
- ・グラフを作成すると状況がよくわかることから、他の学習場面でも Excel を用いると便利だということに気づくための経験ができた。